塗装マニュアル動画

※使用前に必ず
ご覧ください

自動車ヘッドライトレンズ補修用
2液型クリヤー

AIR LENS REFORMER 3

エアーレンズリフォーマー 3



ポリウレア樹脂の採用で常温乾燥可能。
黄ばんだレンズがスプレーで生まれ変わる。



容量：216ml

特長

1. プライマーレスで密着する自動車ヘッドライトレンズ補修用の2液型特殊ポリウレア樹脂クリヤーです。
2. 高耐候性樹脂の採用と高いUVカット性能により、太陽光紫外線からレンズ素材を長期間、強力に保護します。
3. 加熱乾燥が不要で、塗装後は常温30～40分で乾燥します。

Isamu

標準塗り面積（2回塗り）	乾燥時間	可使時間（有効時間）
0.2～0.3㎡ 30cm×40cm 大の ヘッドライト 2 ～ 3 個分を 塗装可能	初期乾燥:10分 初期硬化乾燥:30～40分 硬化乾燥:4時間 （気温23℃･湿度50%）	10℃: 90分 20℃: 60分 30℃: 40分 40℃: 30分

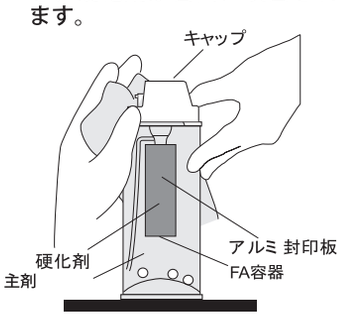
※塗装する前に必ず下処理が必要です。

施工箇所の確認	レンズ(素材)の状態を確認する。	クラックや深い傷、レンズ内部にある汚れや傷は修復できません。
下地処理	P320ペーパーで旧塗膜を完全に除去する。 全体をP400→P600→P800→P1000→P1200→P1500→P2000と番手を上げて研磨傷を消していく。	ペーパーで傷付くことを防ぐために、レンズ周囲をマスキングテープなどで保護してください。旧塗膜が残っていると密着不良やチヂミの原因となります。 表面が黄色く変色して劣化が進んでいる場合は研磨で確実に除去してください。
マスキング 清浄 脱脂	塗装面以外はマスキングを行う。 薄めた中性洗剤や脱脂剤で 清浄･脱脂する。	マスキングは広めに行ってください。中性洗剤使用後は水で確実に洗い流してから水気をしっかり乾燥させてください。 脱脂剤の種類によってはレンズ素材を溶かすことがありますので目立たない場所で確認することをおすすめします。 脱脂剤はレンズに直接つけず、一度ウエス等に含ませてからご使用ください。

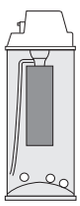
1 硬化剤調合

●塗料が噴出してもよいように、噴出口部分をウエス及びビニール袋などでおおってください。

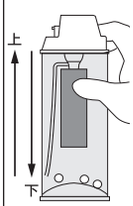
●缶を垂直に置き、「プシュ」と音がするまでレバー後部を強く押してください（ボタンは長く押さないでください）。中の硬化剤入り容器に穴が開き、硬化剤が缶内に噴出されます。



2 静置～混合

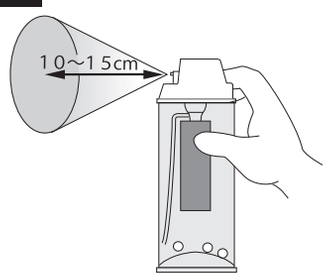


●必ず
3分間静置
してください。
この間に内部の硬化剤容器から硬化剤が噴出します。



●主剤と硬化剤を混ぜるため、40～50秒位振ってください。

3 塗装～乾燥



●塗装面から10～15cm離し、一度に厚塗りしないで均一な膜ができるように合計2回塗装します。
（塗装間隔は1～3分）

●塗装は可使時間（1時間/20℃）以内に終えてください。

初期硬化乾燥：30～40分
硬化乾燥：4時間
（気温23℃・湿度50%）

塗装のポイント

- 塗料を吹きつけるときはレンズの形状に合わせて水平に動かしてください。
- レンズ外周のフチを先に塗装してから中央部を塗装することで、塗り残しを防げます。
- 清浄と脱脂を確実に行うことで、塗装時のハジキや密着不良を避けることができます。
- 溶剤の揮発具合によっては塗装面が一時的に白濁することがありますが、乾燥後は透明になります。

注意事項

■ご使用に際して
1. 天気が良い日、風が強くない場所を選んで塗装してください。
2. 目立たない部分で試し塗りをして、噴射状態や下地への影響を確認してください。
3. 塗料はだ円形に噴射され、噴出口部分が回転しますので、レンズの形状によって向きを変えてください。
4. 残りが少なくなり缶を斜めにすると出にくくなる場合がありますので、キャップを回して調整してください。
5. 塗り面積・乾燥時間は、塗り方や気象条件の違いによって増減する場合があります。

■取扱い上の注意
1. 子供の手が届かないところに保管し、誤飲、誤食をしないように注意すること。
2. 有機溶剤が含まれているので、塗装中・乾燥中ともに換気をよくすること。
3. 火気のあるところでは塗らないこと。
4. 塗料を吹きつけるときは、人や物にかからないよう注意すること。
5. 塗装の際、国家検定に合格した防毒マスク・送気マスクを必ず着用してください。

■保管上の注意
1. 直射日光の当たる所、自動車内、暖房機器(ファンヒーター等)の周囲等の高温になる場所には、破裂する危険があるので置かないでください。
2. 缶の錆による破裂を防ぐため、水周りや湿度の高い所に置かないでください。

■廃棄上の注意
1. やむを得ず残った塗料を捨てるときは、火気のない屋外で、新聞紙などに塗り広げ、溶剤を蒸発させ、十分に水に浸してから、産業廃棄物として廃棄してください。
2. 容器を捨てる際には、中の塗料とガスを充分に（噴出音が消えるまで）抜き、他のゴミとはっきり区別して処分してください。

※カタログ記載の内容は、2026年9月時点の情報です。カタログに記載の内容は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

彩で未来を創る
ISAMU イサム塗料株式会社

東京支店 TEL 048-444-0136
名古屋支店 TEL 052-502-0136
大阪支店 TEL 06-6308-1363
福岡支店 TEL 092-611-1360
仙台出張所 TEL 022-206-6136
滋賀工場 TEL 077-562-1360
札幌駐在所 TEL 011-823-1360
広島駐在所 TEL 082-291-1234

エアーレンズリフォーマー3 カタログ 初版 カタログNo.AA209-26-10 015-06P